

怒りやすい人に使用される漢方薬に配合

カギカズラ (アカネ科)

Uncaria rhynchophylla Miquel

部位	とげ
生薬名	釣藤鉤、釣藤鉤 (チョウトウコウ) 局方収載
成分	リンコフィリン、ヒルスチン (インドールアルカロイド)
薬理	血圧降下作用、鎮静作用など
薬能	平肝熄風薬 (へいかんそくふうやく)
漢方	釣藤散、抑肝散、七物降下湯など



鉤 (カギ) 状のとげ

東アジア暖帯地に分布する常緑つる性の木本植物。日本では本州房総半島以南、四国、九州に分布します。北限域にあたる京都市の松尾大社ではカギカズラの自生地として天然記念物に指定されています。私が、2025年に対馬を調査した際には、北島でも分布を確認しました。暖地では極めて繁茂し、大きな群生となります。写真の様な小さな花が球状となり、たくさん付けるので、これからの時期が山で見つけ易いです。薬用部位は鉤状のとげで、釣藤鉤という生薬です。最近では、この生薬が主薬である抑肝散という漢方薬が認知症の周辺症状の治療に用いられています。特に、認知症患者さんの易怒性 (怒り易い、暴力性) に効果を発揮します。抑肝散は、もともと小児の疳の虫に用いられたお薬です。漢方薬の世界では、子母同服される薬で、母親と子供に対して同時に服用させます。子供は母親の影響を受け易いという考えが古くからありました。

イノンド (セリ科)

古代エジプト、メソポタミアで栽培された香辛料、薬草

Anethum graveolens L.

部位	果実
生薬名	蒔蘿子 (ジラシ)
成分	d-リモネン、d-カルボン (モノテルペン) ジラピオール (フェニルプロパノイド)
薬理	抗菌・真菌作用、鎮静作用、子宮筋層収縮作用など
用途	駆風薬、嘔吐、月経困難症、食品としての香辛料



地中海沿岸から西アジア、インドに分布する一年草または二年草。イノンド、アニス (*Pimpinella anisum*)、クミン (*Cuminum cyminum*)、ウイキョウ (*Foeniculum vulgare*) などを含めて果実に芳香成分を多く含んでいるセリ科の植物は、古代エジプトやメソポタミアで栽培、利用されていた記録が残っています。何れの果実もよく似た形態をしています。属 (学名に下線を入れました) が異なる植物です。英名はdill (ディル) で、「和らげる」という意味がある様です。香辛料としては有名ですが、古くから腸内のガスを出す駆風薬として利用されてきた他、嘔吐、月経困難症などの治療にも用いられてきました。最近では、分娩の進行に効果的であるという報告があります。イランやノルウェー、アメリカなどではディルシードティーの消費が多いようです。



ホームページでも
ご覧いただけます